

＼ 江里山を語ろう ／
だんだんだより

2025.3（最終号）



だんだんだより に込めた思い

【だんだん】になった田んぼが広がる

みなさんのふるさと【江里山】について 少しお話しませんか

これまでの江里山について これからの江里山について

【囃らん】しながら色々と教えてください

そのきっかけづくりとして

みなさんとのコミュニケーション誌【だんだんだより】を発行しました

みなさんと一つ（団）になって

江里山のことを考えていきたいので よろしく願います

だんだん掲示板
(みなさんへのお知らせ)



毎月最終木曜日は
座談会の日

次回は

3/27です

時間 14:00～
場所 江里山公民館



江里山 × 地域おこし協力隊

～ 4年間の活動報告 ～

棚田の保全と利活用編

江里山を語ろう だんだんだより

発行／棚田げんきスタッフ（小城市地域おこし協力隊）

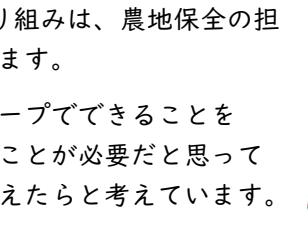
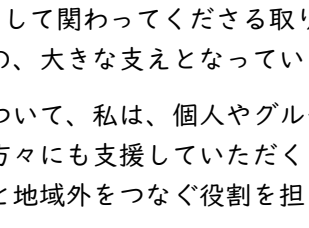
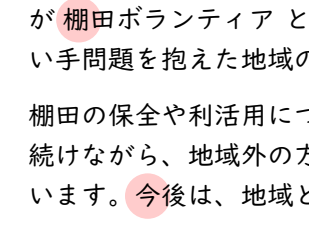
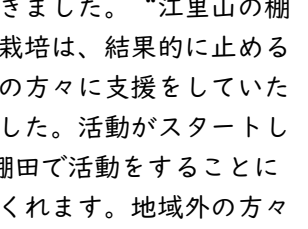
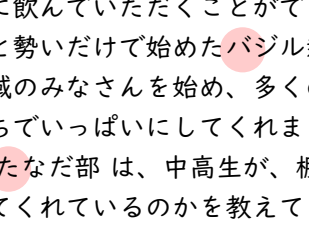
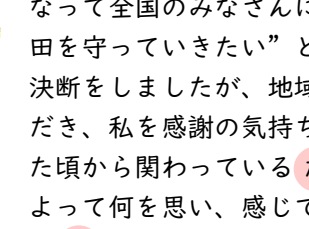
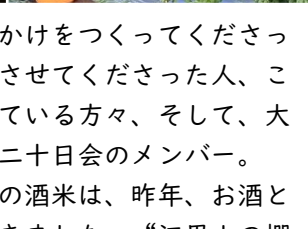
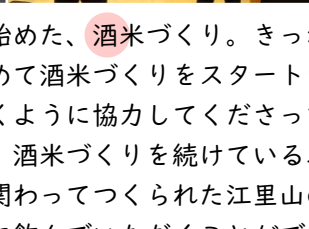
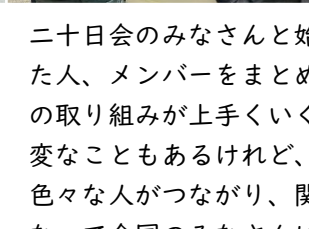


江里山の棚田
Instagram



江里山 × 地域おこし協力隊 ～ 4年間の活動報告 ～

1月～3月のだんだん日よりでは、2021年から始まった江里山での活動を、3つのテーマ（地域コミュニティ・広報活動・棚田の保全と利活用）に分けて振り返っています。3月は 棚田の保全と利活用編 です。活動を始めて、棚田とその役割を知りました。そして、棚田や地域を守っていくために、私に何ができるのかを考えながら過ごしてきました。先頭に立って、何か新しいこと や スゴイこと を成し遂げたわけではありませんが、みなさんの思いを自分なりに汲み取り、色々なことに挑戦させていただいた4年間でした。
みなさん、今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願いいたします。



二十日会のみなさんと始めた、酒米づくり。きっかけをつくってくださった人、メンバーをまとめて酒米づくりをスタートさせてくださった人、この取り組みが上手くいくように協力してくださっている方々、そして、大変なこともあるけれど、酒米づくりを続けている二十日会のメンバー。色々な人がつながり、関わってつくられた江里山の酒米は、昨年、お酒となって全国のみなさんに飲んでいただくことができました。“江里山の棚田を守っていきたい”と勢いだけで始めたバジル栽培は、結果的に止める決断をしましたが、地域のみなさんを始め、多くの方々に支援をしていただき、私を感謝の気持ちでいっぱいにしてくれました。活動がスタートした頃から関わっている たなだ部 は、中高生が、棚田で活動することによって何を思い、感じてくれているのかを教えてください。地域外の方々が 棚田ボランティア として関わってくださる取り組みは、農地保全の担い手問題を抱えた地域の、大きな支えとなっています。

棚田の保全や利活用について、私は、個人やグループでできることを続けながら、地域外の方々にも支援していただくことが必要だと思っています。今後は、地域と地域外をつなぐ役割を担えたらと考えています。

